

新井もりお 市政報告

ARAI MORIO
A MUNICIPAL REPORT



egao iwatsuki

令和元年9月～12月定例会において、議案質疑、委員会質問等多岐にわたり、様々な討議をして参りました。新たな委員会にも所属し、課題を一つひとつ丁寧に要望として提言して参ります。私たちのまち、さいたま市に関するご意見・ご要望がございましたら新井もりお事務所へお寄せください。

新井もりお事務所発行

市民相談窓口 [市民の声] 受付時間 月～金
10:00～12:00 14:00～16:00
さいたま市岩槻区大字徳力 86 番地
TEL 048-812-7218 FAX 048-812-7219
Email ; morimori-morimori@rose.plala.or.jp

岩槻区の花
やまぶき



新たな特別委員会に選任されました。

令和元年台風第19号災害対策調査特別委員会設置。

令和元年10月12日関東地方に上陸した台風19号は、さいたま市にも大きな被害をもたらしました。この特別委員会は、台風19号の実態把握と被害の原因、今後の対策のために特別に設置されました。

各地において未だにその爪痕が残り復旧の目処が立たない地域があるのが現状です。

様々な補償を受けることができるのは、床上浸水からであるため、床下浸水の届け出は少なく、東徳力地区では、自治会調査で83件あった床下浸水はほぼ届け出はされていません。今後、各地域の団体に協力を依頼し、正確な実態把握に努める必要があると思われまます。

また、水害対策の要となる治水事業について報告があり、「埼玉県とは一級河川鴨川、鴻沼川、柴川、綾瀬川、古隅田川などの治水事業について、埼玉県・さいたま市（河川・下水道）事業調整協議会を通じて、今後の水害対策を検討する」と県との連携を強調しました。

東徳力地区、水害の無いまちへ！

長年、浸水被害に悩まされていたこの地区に悲願の事業がいよいよ始まります。令和元年11月10日、「東徳力団地内水対策事業に関する説明会」が、さいたま市建設局土木部河川課により開催されました。100名を越える参加希望があり、急遽二部制にして開催。「浸水の原因と事業の概要」について説明を受けました。主な内容は次の通りです。早期着工、完成が望まれます。

市の説明事項

1. 調節池容量の増加
(新設調整池の整備)
2. ポンプ能力の増強
3. 排水構造の見直し

住民からの要望

1. 台風19号による被害水量 + α を貯水出来る機能を備えた調整池の設置
2. 春日部市側より流入する水の実態と対策
3. 事業終了までの間の暫定的な排水施設の改良計画
4. フラップゲートの設置

岩槻区の被害状況（罹災証明発行に基づく数値）12/25 正午現在

	さいたま市全体	岩槻区
床下浸水（住家）	939件	62件
床上浸水（住家）	372件	13件
一部損壊（住家）	62件	11件
道路冠水（通行止め）	84件	25件

その他、委員会では以下のような事案が協議されました。

- ・大型調整池の整備促進。
- ・水路、道路の土砂撤去やポンプ施設の早期復旧について
- ・災害ごみの処理について。
- ・浸水、防災マップの見直し、冠水道路における注意喚起の看板設置について



東海自治会、小溝1丁目・小溝東自治会地区への対策も併せて取り組みを強化して参ります。



ホームページを開設しています！新井もりおオフィシャルサイト www.araimorio.com